



亀山市名誉市民

彫刻家  
**中村 晋也**  
Shinya Nakamura

作品紹介

ふるさとあい

Vol. 107

## 「やすらぎ」

平成8(1996)年

帽子にうずくまって眠る二匹のネズミ君。アメリカのアニメ「トムとジェリー」を知る世代には、こんな愛らしい光景を目撃していたかもしれません。

昔は米蔵に出没して貴重な穀類を盗み食いするやっかいもの。最近では、夜の飲食店街を荒らし、駆除の毒薬にも耐性を持ったスーパーラットが、しぶとく都会の町を生き抜いているとか。今、日本ではコメ不足と高価格が問題になっていますが、満腹で幸せそうに眠るネズミを表現したこの作品からは、豊かさと長閑な日常が彷彿と浮かんできます。



(高さ)17cm × (幅)21cm × (奥行)18cm  
中村晋也美術館

特別協力 公益財団法人 中村晋也美術館

<https://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/>



まちかど  
キラリ

谷 慶子さん  
(みずほ台)



windsoil代表、高田短期大学非常勤講師。千葉出身。自然の中での体験を通じての場づくり、人づくりに取り組む。本年2月、多様なアウトドアのフィールドで人材育成に尽力している人をたたえ表彰する「JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2025」で優秀賞を受賞。

## 自然体験活動で未来につなげる人づくりを

幼少期のキャンプ体験の積み重ねが自らの土台を築いてくれたことから、自然体験活動を広く知ってほしいと、大学卒業後から東京、千葉で長年、自然学校に従事されてきました。ご主人の転勤で亀山に移住。双子の育児をしながら、亀山の自然豊かな環境の中で、移住者(wind)も地元の方(soil)も交流できる豊かな子育て、人づくりをしたいと、5年前に仲間とwindsoil(ウインドソイル)を設立。

現在、乳幼児の親子を対象にした「あおぞらen」、幼児から学童期の親子を対象とした「やまのしずく」を月1回ずつ開催。身近な自然や里山での稲作づくりや森遊びなどの体験の場を提供しています。「年間を通して、参加者が大きな家族のようになっていき、共に子どもたちを見守り、成長を喜び合えることが、この活動の魅力です」と谷さん。



「人の土台をつくる幼少期に、さまざまな自然体験を通して豊かな感性を育み、地域とつながることで多世代交流の場が出来ます。仲間と育ち合い、自然から子どもも大人も学んでいきます。その経験が心のふるさととなり、亀山を大切に想う、未来を見据えた人づくりをしていけたらいいと思います」と話されます。

今後も自然の中での体験を通じて、亀山の自然環境と人のつながりの大切さを次世代へつなげる取り組みが続きます。

